

2026年5月15日

株式会社ティン

2026年3月期決算参考資料

1. 連結業績の推移

連結業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比	2027年3月期 予想
売上高	5,344	5,594	4.7%	6,299
売上総利益	2,134	2,188	2.5%	2,673
(売上総利益率)	(39.9%)	(39.1%)	△0.8pt	(42.4%)
(販売管理費率)	(33.5%)	(33.1%)	△0.3pt	(34.7%)
営業利益	346	334	△3.4%	487
(営業利益率)	(6.5%)	(6.0%)	△0.5pt	(7.7%)
経常利益	391	456	16.5%	503
親会社株主に帰属する 当期純利益	247	336	36.0%	346

国内海外別売上高 連結

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比	2027年3月期 予想
国内売上	1,940	2,016	3.9%	2,005
海外売上	3,403	3,577	5.1%	4,293
計	5,344	5,594	4.7%	6,299

注) 上記海外売上区分に属する主な国：アメリカ、中華人民共和国、イギリス、タイ等

研究開発費・設備投資

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比	2027年3月期 予想
研究開発費	220	219	△0.7%	274
設備投資額	269	200	△21.7%	206
減価償却実施額	429	405	△5.6%	419

その他

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比	2027年3月期 予想
為替レート(1US\$)	152.58円(平均)	150.77円(平均)	—	153.73円(期末)
為替レート(1人民元)	21.10円(平均)	21.24円(平均)	—	21.82円(期末)
従業員数(期末)	399名	398名	△0.3%	—
臨時従業員数(平均)	61名	63名	3.3%	—

【注意事項】

本資料は発表済みの決算内容や業績予想について補足的に説明するものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。今後の業績は前提の変化により予想と異なる可能性があります。

2. 連結業績の概要

前年同期比で売上高が 4.7%の増収、損益面では営業利益が 3.4%の減益、経常利益が 16.5%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益が 36.0%の増益となりました。詳細は決算短信を合わせてご参照ください。

① 売上高

当連結会計年度における我が国経済は、資材価格や人件費の上昇が続くなか価格転嫁の動きも進み、企業の設備投資が堅調に推移したことから、内需は緩やかな回復基調となりました。一方、海外経済については、米国における関税政策、中国経済の内需低迷、欧州および中東地域における地政学的リスクの長期化に伴うエネルギー不安などにより、世界経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、当社の属するカーアフターマーケットにおいて当社グループは、展示会や試乗会への積極的な参加や適合車種の迅速な展開を通じて、海外市場の開拓と販売力の強化を図るとともに、新規販売網の開拓など営業基盤の底上げに継続的に努めてまいりました。今後の成長が期待されるグローバルマーケットへのブランド浸透に加え、「EnduraPro」シリーズの訴求強化や、市場ニーズの高い「4x4DAMPER」の商品開発にも注力してまいりました。

こうした取り組みの中、中国地域では経済停滞の影響を受けたものの、日本国内やタイへの販売は前年同期比では概ね好調に推移し、売上高は前年同期と比較して増収となりました。

② 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

損益においては、人件費や資材価格の上昇が続いたものの、米国の対中関税政策の影響を踏まえ、米国向け製品の一部について中国工場から日本の本社工場へ生産移管した効果が徐々に顕在化したことにより、売上総利益率が改善し、増益となりました。

お問合せ先：

株式会社ティン 管理課（IR担当）

TEL：045（810）5511

【注意事項】

本資料は発表済みの決算内容や業績予想について補足的に説明するものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。今後の業績は前提の変化により予想と異なる可能性があります。